

■フィリピン：ペプシコーラがバイオマス発電を全国展開

Pepsi-Cola Products Philippines (PCPPI) は 2010 年 11 月 4 日、開発を希望する企業を募集し BOT (建設・運営・譲渡) 方式で国内の 11 カ所にバイオマス発電所 (合計 1.1~1.5 万 kW) を建設すると発表した。同社は完成した発電所から工場に電力供給する予定である。建設場所は、ルソン地域のラウニオン州 (ロサリオ市) やパンパンガ州、ビザヤス地域のセブ市、ナガ市、レイテ島、ネグロス島 (バコロド市)、パナイ島 (イロイロ市)、ミンダナオ地域のカガヤンデオロ市、サンボアンガ市、ダバオ市などが候補に上がっている。ラウニオン州 (ロサリオ市) での事業に関しては、すでに Solutions Using Renewable Energy (SURE) 社が発電所を建設することが決定している。SURE 社は、270 万ドルを投じてロサリオ市に 1,200kW のバイオマス発電所を建設する予定である。また、SURE では、精米工場から排出される籾殻と木材工場から排出される木くずを燃料に使用する予定である。